

## Microsoft Excel 97-2003 のツールバーに、「パソコン決裁 オートプロテクトツール」のツールバーが表示されない現象について

### ・現象

Microsoft Excel 97-2003 のツールバーに、「パソコン決裁 オートプロテクトツール」のツールバーが表示されない。

### ・原因

Microsoft Excel 97-2003 の使用状況やアップグレード等により以下の状態になると、「パソコン決裁 オートプロテクトツール」のツールバーが表示されません。

- ◇「パソコン決裁 オートプロテクトツール」のアドインファイルが削除された。
- ◇「パソコン決裁 オートプロテクトツール」のアドインファイルへの参照が無効になった。
- ◇「パソコン決裁 オートプロテクトツール」のツールバー表示がオフになった。

### ・解決方法

以下の手順で、「パソコン決裁 オートプロテクトツール」を再設定してください。

#### ・操作手順

- (1) Microsoft Excel を終了していることを確認し、エクスプローラを起動します。
- (2) Microsoft Office がインストールされているフォルダ内にある[XLStart]フォルダにアクセスします。  
例) Microsoft Office 2003 を C ドライブにデフォルト設定でインストールした場合は、  
[C:¥Program Files¥Microsoft Office¥Office11¥XLStart]です。

[XLStart]フォルダの親フォルダ名は、Microsoft Office のバージョンによって異なります。

Microsoft Office 2000 以前の場合: ~¥Microsoft Office¥Office¥XLStart

Microsoft Office XP の場合: ~¥Microsoft Office¥Office10¥XLStart

Microsoft Office 2003 の場合: ~¥Microsoft Office¥Office11¥XLStart

- (3) [XLStart]フォルダ内に「パソコン決裁 オートプロテクトツール」のアドインファイル( satpr6e.xlaまたは satpr5e.xla、satpr41e.xla、satpro4e.xla )が格納されているか確認します。

アドインファイルを確認できない場合は、操作手順(4)に進んでください。

アドインファイルを確認できた場合は、操作手順(6)に進んでください。

- (4) 下記フォルダに収録されている「パソコン決裁 オートプロテクトツール」のアドインファイルを操作手順(2)でアクセスした[XLStart]フォルダに貼り付けます。なお、パソコン決裁のバージョンにより対応可能なMicrosoft Excelのバージョンが異なりますので、ご注意ください。

**【パソコン決裁6の場合】**

「パソコン決裁6 捺印ツール」をインストールしたフォルダ内に収録されています。

例 [C:\Program Files\DstmpV6\satpr6e.xla]

対応バージョン: Microsoft Excel 2000/XP/2003

**【パソコン決裁5の場合】**

「パソコン決裁5 捺印ツール」のインストール CD-ROM 内に収録されています。

例 [～\stmptool\files\satpr5e.xla]

対応バージョン: Microsoft Excel 97/2000/XP/2003

**【パソコン決裁4の場合】**

「パソコン決裁4」のインストール CD-ROM 内に収録されています。

例 [～\stmptool\files\satpr41e.xla または satpro4e.xla]

対応バージョン: Microsoft Excel 97/2000/XP

(注意)Microsoft Excel XP(2002)に対応しているのは、satpr41e.xla のみです。

修正版のアドインファイルを電子メール等で弊社より入手されている場合は、そのファイルを[XLStart] フォルダに貼り付けてください。(既に同名のファイルがある場合は、そのまま上書き保存してください。)

- (5) Microsoft Excelを起動し、「パソコン決裁 オートプロテクトツール」のツールバーが表示されているか確認します。

ツールバーを確認できた場合は、設定終了です。

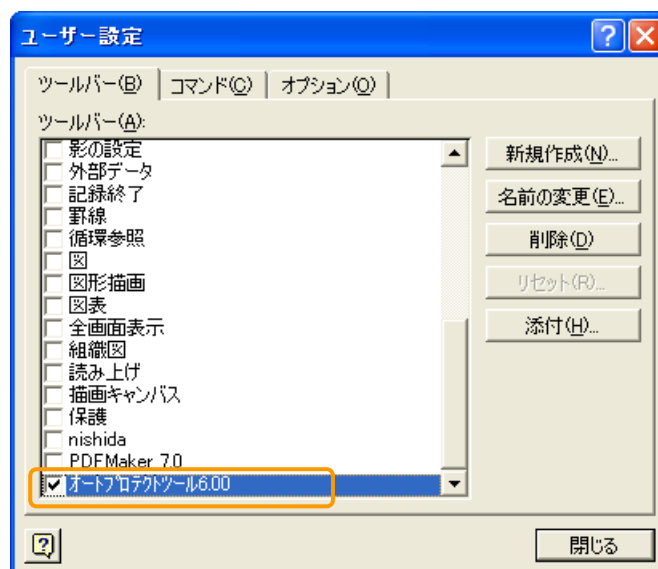
ツールバーを確認できない場合は、操作手順(6)に進んでください。

**・パソコン決裁6の場合****・パソコン決裁5の場合**

- (6) メニューバーにある[ツール]-[ユーザー設定]を選択して[ユーザー設定]ダイアログボックスを表示し、[ツールバー]タブの[ツールバー]リストボックス内に[オートプロテクトツールX.XX]が表示されているか確認します。

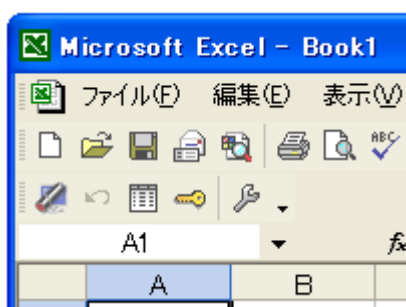
[オートプロテクトツールX.XX]が表示されている場合は操作手順(7)に進んでください。

[オートプロテクトツールX.XX]が表示されていない場合は、[ユーザー設定]ダイアログボックスを閉じて 操作手順(8)に進んでください。

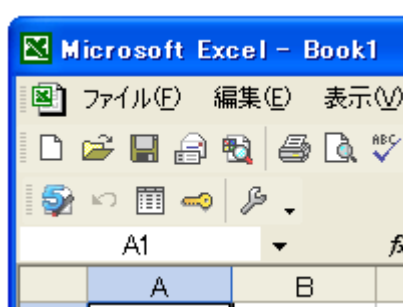


- (7) [オートプロテクトツール X.XX]のチェックボックスにチェックを入れて[ユーザー設定]ダイアログボックスを閉じます。「パソコン決裁 オートプロテクトツール」のツールバーが表示され、設定終了です。

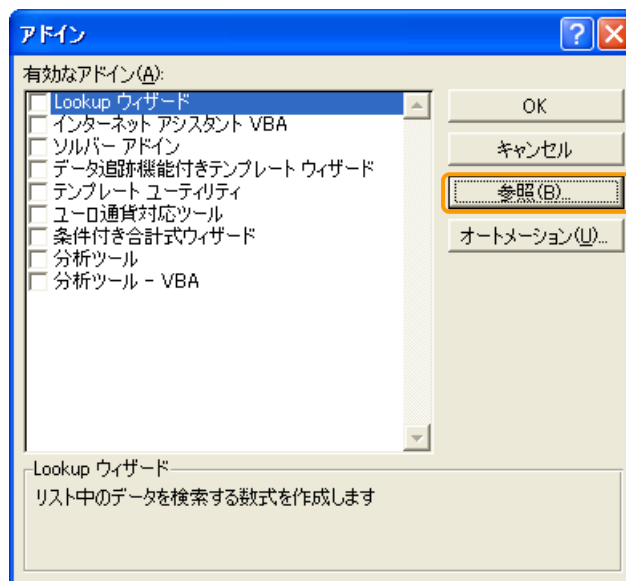
・パソコン決裁6の場合



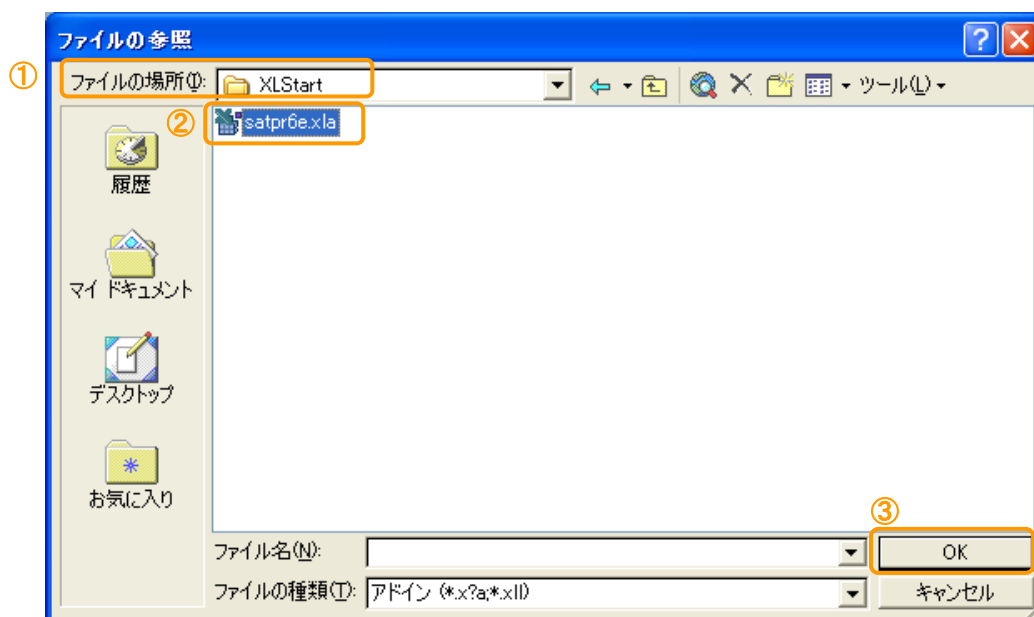
・パソコン決裁5の場合



- (8) [オートプロテクトツール X.XX]が表示されていない場合は、メニューバーにある[ツール]–[アドイン]を選択して[アドイン]ダイアログボックスを表示し、[参照]ボタンをクリックします。



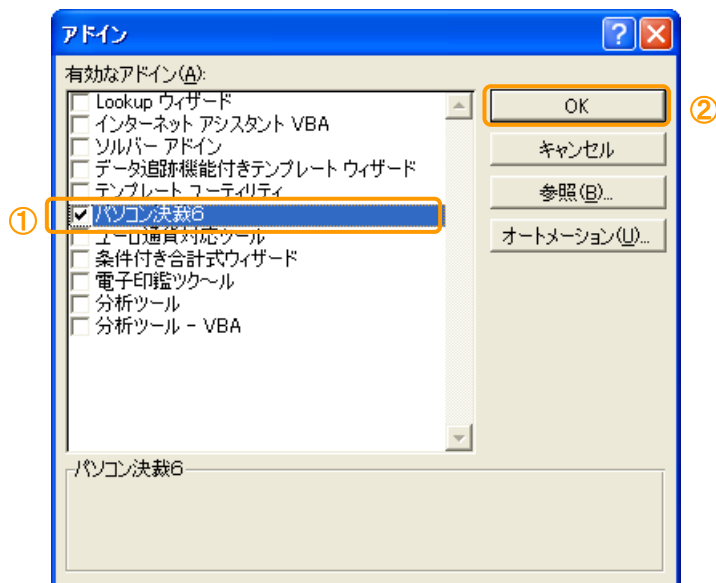
- (9) 操作手順(3)で確認した「パソコン決裁 オートプロテクトツール」のアドインファイル(satpr6e.xlaまたはsatpr5e.xla、satpr41e.xla、satpro4e.xla)を選択して、[OK]ボタンをクリックします。



- (10) [アドイン]ダイアログボックスの[有効なアドイン]リストボックス内に、「パソコン決裁 オートプロテクトツール」のアドインが表示されているか確認します。  
 (アドイン名はパソコン決裁のバージョンによって異なります。例: [パソコン決裁5 オートプロテクト捺印ツール]、Excel アドインファイル名の文字列 等)

アドインが表示されていない場合は、[回避方法]をお試しください。

アドインが表示されている場合は、チェックボックスにチェックをいれて[アドイン]ダイアログボックスを閉じます。



「パソコン決裁 オートプロテクトツール」のツールバーが表示され、設定終了です。

・パソコン決裁6の場合



・パソコン決裁5の場合



## ・回避方法

「パソコン決裁 オートプロテクトツール」のアドインファイル保管フォルダを変更することで、アドインが表示されることがあります。

## ・操作手順

- (1) Microsoft Excel を終了していることを確認し、任意の場所にフォルダを作成します。  
以下、[C:\\$tmpTool]フォルダを作成したと仮定して説明します。
- (2) [解決方法]の操作手順(2)～(3)を参考にして [XLStart]フォルダにアクセスし、[XLStart]フォルダにある「パソコン決裁 オートプロテクトツール」のアドインファイル( satpr6e.xlaまたはsatpr5e.xla、satpr41e.xla、satpro4e.xla )を上記で作成した[C:\\$tmpTool] フォルダに移動します。  
( [XLStart]にある「パソコン決裁 オートプロテクトツール」のアドインファイルは削除してください。 )
- (3) Microsoft Excelを起動し、[解決方法]の操作手順(6)～(10)を参考にして上記で登録したアドインファイルを[有効なアドイン]に登録します。

以上